

芸術監督だより 巻頭特別版

5月公演に寄せて

目に青葉 やまほととぎす 初鯉

良い季節の中で、良い音楽を聴き、美味しいご馳走をいただく、そんな贅沢なかなかできませんね。いや、できるんです。5月19日、花金の夕べ、美味しい夕食を召し上がってからでもよし、コンサートの余韻に浸りながら、ワイングラスを傾けられるもよし。また、翌5月20日土曜日の午後は、大村公園を散策されて、ゆったりとお過ごしいただいてから、コンサートにおいでいただき、音楽に身をゆだね、目を閉じて聴かれるもよし。

今回の特別メニューは、大村生まれながら、馥郁としたヨーロッパの香りを運んでくれる新進ピアニスト、安部まりあさんのモーツァルト。第27番までであるピアノ協奏曲の中から、演奏されるのは19番。26番が「戴冠式」という副題がついており、19番は「第2戴冠式」ともいわれているそうです。つまり両方とも、1790年、神聖ローマ帝国皇帝レオポルト2世の戴冠式に際して、モーツァルトが催した演奏会で演奏されたとか。その時代に思いを馳せて聴かれるもよし。バッハのトッカータとフーガはオルガン曲を松原勝也シェフの編曲で弦楽合奏でお楽しみいただき、モーツァルトの後は、ベートーヴェンの交響曲第1番でめでいただきます。ポツシュなひと時をお過ごしください。

第10回長崎/第23回大村 定期演奏会
Omura Chamber Ensemble

世界へ羽ばたく、長崎出身の若手ピアニストと共演。

第10回長崎定期演奏会 2017.5.19 (土) 19:00開演 (18:30開場) 長崎市民会館・文化ホール	第23回大村定期演奏会 2017.5.20 (土) 19:00開演 (18:30開場) シーハットおおむらさくらホール
--	---

[長崎・全席自由] 大人3,500円(レ・ハットクラブ会員1,000円)
[大村・全席指定] 小中高生1,000円(レ・ハットクラブ会員900円) 当日8500円増

- バッハ(協奏曲 第1番)/トッカータとフーガ ニ短調「F」第1番 BWV538(弦楽合奏版)
- モーツァルト/ピアノ協奏曲第19番 ヘ長調「第2戴冠式」K.459
- ベートーヴェン/交響曲第1番 ハ長調Op.21

安部 まりあ (ピアノ)

長崎 啓也 (指揮/コンサートマスター)

5月本管八重奏によるロビーコンサートもお楽しみください。

お問合せ/シーハットおおむら TEL.0957-20-7207

● 1月28日(土) アルカスSASEBO・大ホール ● 1月29日(日) 長崎ブリックホール・大ホール



チェコを代表するオーケストラの一つで、特に古典作品の演奏には定評のあるチェコ国立室内管弦楽団バルドビツェ45名が来崎して、1/28(土)にアルカスSASEBO大ホール、1/29(日)に長崎ブリックホール大ホールで、第九特別演奏会が開催されました。

「熊本震災復興支援チャリティーコンサート」と銘打ったこのコンサートに、私たちOMURA室内合奏団の25名が共演しました。

プログラムは、ベートーヴェンのエグモント序曲へ短調作品84と、交響曲第9番「合唱付」ニ短調作品125ということで、県民第九合唱団として佐世保公演には158名、長崎公演には154名が参加し、オーケストラと合わせて230名程の大きなステージになりました。

リハーサルは公演の前日と、本番当日のゲネプロ(最終リハーサル)のみでした。指揮者の武藤英明氏には、以前にもOMURA室内合奏団の演奏会でも指揮をして頂きました。その時には日本語での会話でしたが、今回はチェコ語を多く使用されていたので、戸惑いながらも必死の3日間でした。

武藤氏とチェコのオケはその後、1/30(月)諫早文化会館、2/1(水)東京オペラシティコンサートホール、2/3(金)横浜みなとみらいホールで公演を行いました。

さいとう あきら
齊藤 享 (ヴァイオリン)

まちかどコンサート

● 大村市内各所で毎月開催



私が中学生の頃、大村の空港通りには小さなハンバーガー屋さんがあり、そのお店では時折コンサートが開催されていて、母が楽器を始めたばかりの私をよく連れて行ってくれました。

お気に入りの白いセーターにベレー帽。少しだけおしゃれをして出かける小さな音楽会はワクワクに満ちていました。

実はその時演奏されていたのは、ファゴット奏者種口さんが所属しておられる「POE」の皆さんだったのですが、(白い紙を握りしめてサインをねだったのは、オーボエのいっちゃんでした、種さんごめんなさい。)間近で聴く楽器

の音色に心躍らせ、いつか自分もこんなふう演奏してみたい…とぼんやり思ったことを今でもよく覚えています。

普段、生活の中にある空間に音楽が加わることで、そこは素敵なコンサートホールになります。

皆さんと共に音を楽しみ、作り上げる演奏会を通し、おらが街のオーケストラとしてさらにOMURAを知っていただきたい。

そんな思いから、2017年の幕開けとともに「まちかどコンサート」が始まりました。

記念すべき1回目のまちかどコンサートは大村市古町にある「本経寺」で開催、国指定の史跡にもなっている歴史あるお寺に染み入るような弦の音色は、普段のホールとはまた違った響きを聴かせてくれました。

この1年を通し、大村各所に合奏団のメンバーがお伺いします!

普段舞台では見られない団員の一面もみられるかもしれません。

皆さんぜひ、お気軽に足をお運びくださいね。

会場でお会いできますことを心より楽しみにしております。

ながとめ ゆか
永留結花 (フルート)

～ 新年度のご挨拶 ～

光り輝く春、新しい年度を迎えるにあたりひとことご挨拶を申し上げます。

パトローネージュ会員の皆様におかれましては、平素よりOMURA室内合奏団を支えてくださり心からお礼を申し上げます。

近年、団員お一人おひとりの様々なスタイルでの音楽活動が活発になり、それが市民、県民の皆様にも認知されるようになって、私が理想としている音楽、芸術が日常の中にある心豊かなまちづくりに大きく貢献していただいています。

昨年はこのような活動に加え、今井信子さんという世界的なヴァイオリン奏者をお迎えして、他の都市の音楽家や音楽ファンがうらやむようなコンサートも開催いたしました。これもひとえに村嶋芸術監督の広大な人脈があればこそこの話であり、このようなネットワークが地域の底力であると思います。

今年の秋には、鳥栖市が主催するフッセル鳥栖ピアノコンクールの優勝者を迎えてのコンサートに出演するなど、OMURA室内合奏団の音楽的レベルと地域貢献に対する高い評価が県内外に定着していることを実感します。

この5月には大村出身の安部まりあさんをソリストに迎えてモーツァルトのピアノ協奏曲を演奏いたしますが、このように地元ゆかりの若い音楽家との協演という方向性はこれからも継続してまいります。そして多くの才能豊かな若い音楽家が「プロのオーケストラとコンチェルトを弾ける街」から世界に羽ばたいていって欲しいと心から願っています。

認定特定非営利活動法人

OMURA室内合奏団 理事長 嶋崎真英

私とOMURA室内合奏団

vol.13

今年のウィーンフィル・ニューイヤーコンサートの指揮者はベネズエラ出身エル・システマで育ったドゥダメルが抜擢されましたね。

一方、日本では、東日本大震災後、被災地の子どもたちの為にエル・システマジャパンが設立されました。

「音楽を通し自己を表現、生きる力を育む」ことを目的として希望する全ての子どもたちに音楽教育が無償で提供されています。

音楽の力は本当に素晴らしい!

その音楽に携わることができていることに改めて感謝と自分にできることは?と考えさせられました。

仲間と共に楽器を奏でることは大きな喜びとなり、前進する力となります。私自身、この



OMURA室内合奏団と過ごしてきた12年間、そんなパワーをもらい続けてきました。奏でている時も、それが叶わない時も、仲間と心が通じあい自分らしくいられる。この信頼関係の中で演奏できる幸せ 喜び 感謝が演奏を通じてお客様の心に届き響きますように。

私たちは定期演奏会のみならず、アウトリーチにも力を注いでいます。

街に音楽が溢れ、子どもたちの心が豊かに、そして、将来OMURAドゥダメルが誕生するかも!と楽しみに...

子供たちに負けず、OMURA室内合奏団も進化し続けるよう仲間と共に頑張ります。

今後ともどうぞよろしくお願いたします。

はなだともこ
花田朋子 (オーボエ)

♪ 音楽と私

中学二年の音楽の時間、古びた離れの教室で、スピーカーから流れた曲にびっくりしたのがクラシックに接した最初と思う。そう思うほど衝撃が大きかった曲は、ベートーベンの(今思えば定番)「運命」であった。

昭和20年代後半、ラジオから流れてくるのは歌謡曲や浪曲ばかりだったような気がする。それも覚えているのは東海林太郎・美空ひばりばかり。今この稿を書きながら当時の小学校で習った歌を懐かしく思い出している。

そのあと母にねだりプレーヤーを買ってもらい、買った最初のレコードは45回転(ドーナツ盤)の「アルルの女」だったのを憶えている。

以来、中学・高校の音楽の時間にクラシックの名曲や、様々なジャンルの曲を聞くにつけ、その奥深さに感じ入っていたが、なかなか「生演奏」を聴く機会が無かった。

仕事に就いてからはクラシック全集も揃えたものの、

ちょうど高度成長期時代、ゆっくり音楽を楽しむ時間も取れずに今日まで来ているが、10年前ほどに長崎でOMURA室内合奏団の演奏を聴く機会があり、そしてプロとして定期的に演奏会を催すと聞き、何年か前に入会させて頂いた。

このように音楽は専ら「聴く方」である私だが何故か、長女は声楽を志し長崎県オペラ協会で頑張り、次女は音楽で長崎を元気づけようと故松尾画伯のお嬢さんと色々な企画をしており、三女は熱心にフラメンコを踊っている。不思議なものだ。

身近で生の音楽を聴く機会が増え、音楽というものの奥深さにさらに魅了されつつある。



崎永 剛
(崎永海運会長)

mi Chiamo

ミ・キアーモ

3つの質問で
メンバーを知ろう!

- ① 自己紹介をご自由にどうぞ!
- ② ひそかなマイアーム
- ③ 最後に一言

※ミ・キアーモとは、イタリア語で「私の名前は、○○」の意。



ヴァイオリン
やまもとくみこ
山本久美子

- ① 出身地は湯煙があちこちに立ち上る温泉の街大分県別府市です。Vn.は母の勧めで6才から始めました。大村の家を建て20年、素晴らしいOMURA室内合奏団に巡り合えて幸せです。
- ② 夫が作る菜園を観察しつつ大根、春菊等の料理作りが楽しみです。
- ③ 思うままに振る舞ってもその矩を越えず、の従心が間近です。音楽を通して勉強します。

- ① 福岡生まれの福岡育ち。乾物屋の祖父と酒屋の祖母を持つ博多っ子です。本当はフルートが吹きたかったので、小学校卒業と共にトランペットは辞めるつもりが…はや幾年…
- ② アリザードフラワーのアレンジメント。意外とちまちま作業好きです。
- ③ 楽器を持ってないと少し引っ込み思案なところもありますが、今後ともよろしくお願ひいたします。



トランペット
こが あつこ
古賀 敦子

ご支援ありがとうございます (3月25日 現在) 法人会員数 67件 (-1件) 個人会員数174人 (+4人) NPOは、会員皆様の会費が主な収入源です。周りの方で、興味のある方がいたら、ぜひお誘い下さい。

編集
後記

寒さがとけて、徐々に春になっていくこの時期がすごく好きです! 新年度新しいことにたくさん挑戦したいです戸 (いけっち)

いよいよ新年度、ピカピカの一年生を見かけると元氣もらえます。お花もたくさん咲き始め、ワクワクしてくる季節ですが、眠くもなるんですよね・さあがんばろう! ?p(^_^)q (ちほ)

誕生日に腕時計をもらいました。もうすぐ迎える新年度、新しい時計で気持ちも新たに頑張ります! 実はいけっちさんと同じ誕生日! おめでとうございました☆ (えりな)